

県立高校に関するアンケート調査結果について

令和4年7月 教育企画室実施

1 調査の目的

小規模校（1学年3学級以下の学校）における学びの在り方を検討するに当たり、小規模校の現状や課題等について把握するため、アンケート調査を実施したものの。

2 調査対象等

	対象数	回答数（回答率）
(1) 県内の全小規模校	16校	16校（100%）
(2) (1) の3年生	945人	644人（68%）
(3) (2) の保護者	945人	372人（39%）

3 アンケート調査結果

(1) 県内の全小規模校

- ・以下の問1から問9の設問について、自由記載でアンケート調査を実施。

問1 小規模校に入学する生徒の特徴や傾向等がありますか。

<主な回答内容>

- ・自分の学力や自宅からの通学距離を踏まえて、入学している生徒が多い。
- ・地元の高校で学びたいと考える生徒が多い。
- ・入学段階で学力に不安を抱える生徒が多く、基礎学力を身に付けることを目標として入学してくる生徒が多い。
- ・資格取得等に向け、専門分野を学ぼうと意欲的に入学してくる生徒もいる。
- ・落ち着いた環境で勉強できることを期待して入学してくる生徒が多い。
- ・中学校までに不登校を経験している生徒が多い。
- ・自分に自信がなく、自己肯定感が低い生徒が多い。
- ・コミュニケーションが苦手で、集団生活が苦手な生徒が多い。
- ・家庭環境に問題を抱えている生徒が多い。
- ・発達障害を抱えているなど、支援を要する生徒が増えている。

問2 生徒から見た小規模校の良いところ（魅力）はどのようなところと考えられますか。

<主な回答内容>

- ・先生との距離感が近く、コミュニケーションが取りやすい。
- ・生徒が互いによく知り合うことができ、生徒の一体感を深めることができる。
- ・教科指導、生徒指導、進路指導について、生徒一人一人の個に応じた手厚い指導が受けられる。
- ・部活動や学校行事等において、生徒一人一人に活躍の場がある。
- ・生徒数が少ないことから、クラス諸係、学校行事、部活動等で一人一人の果たす役割が大きく、その活動を通して自己成長（自主性、主体性、責任感、寛容性、リーダーシップ）が期待できる。
- ・静かな環境で落ち着いて高校生活を送ることができる。
- ・集団生活が苦手な生徒についても比較的容易に学校生活に溶け込むことができる。
- ・施設、設備に余裕があり、のびのびと学習できる。

問3 教員から見た小規模校の良いところ（魅力）はどのようなところですか。

<主な回答内容>

- ・教員が多くの生徒と距離の近い関係性を構築することが可能となり、生徒理解を深めることができる。
- ・生徒一人一人の個に応じた丁寧な指導を行うことができる。
- ・生徒の理解に合わせた授業進度で指導ができる。
- ・学校行事等について、全校による活動や様々な取組を企画しやすいほか、地域に根ざした活動ができる。
- ・保護者との連携が取りやすい。

問4 小規模校の良さ（魅力）を生かすためにいま工夫等していることはありますか。

<主な回答内容>

- ・生徒の委員会活動における縦のつながりを大切にしている。
- ・学校行事等において、生徒一人一人に役割を与え、自分達で目標に向かって活動するよう取り組ませている。
- ・様々な発表会、コンテスト、資格取得、地域連携等に力を入れており、生徒の自己有用感、さらには社会と自分自身を結びつける力を育成するべく努めている。
- ・地域でのボランティア活動やフィールドワークを通して地域社会の課題について探究活動を行うなど、社会性を育む取組を実施している。
- ・地域に根ざした学校設定科目を設定している。
- ・授業や総合的な探究の時間で、地域企業と積極的に連携して、地域に必要とされる人材育成に取り組んでいる。
- ・生徒が地域行事やボランティア活動に参加するなど、学校と地域社会が連携することで、高校の存在が地域の活力維持に繋がるよう取り組んでいる。
- ・魅力化委員会を立ち上げ、地域、学校、生徒で話し合い、活動等に取り組んでいる。

問5 生徒から見た小規模校の課題はどのようなところと考えられますか。

<主な回答内容>

- ・教員配置数が少ないことから、生徒の興味・関心や多様な進路希望に応じた幅広い科目の開設が難しい。
- ・生徒数が少ないため、人間関係に広がりがなく、コミュニケーション能力を育むことが難しい。
- ・人間関係が固定化しているため、トラブル等があった場合に解決に時間がかかってしまう。
- ・校外の状況や自分の力等を把握できず、集団の中で揉まれないため、競争意識が欠如する傾向がある。
- ・多様なものの見方や考え方に触れる機会が少ない。
- ・部活動について、団体競技のチーム編成が難しいなど、部活動の選択肢が限られる。
- ・生徒会や部活等の活動が制限され、学校の活力に欠ける。
- ・文化祭や体育祭等の学校行事について、内容が薄くなり、活力に欠ける。

問6 教員から見た小規模校の課題はどのようなところですか。

<主な回答内容>

- ・教員配置数が少ないことから、生徒の興味・関心や多様な進路希望に応じた幅広い科目の開設が難しい。
- ・生徒数が少ないため、クラス替えなどを積極的に行うことができず、人間関係に広がりがなく、コミュニケーション能力を育むことが難しい。また、競争・切磋琢磨する機会が少なく、生徒のモチベーションを高めづらい。
- ・大人数の場を経験する機会がないため、社会性の育成が難しい。
- ・生徒数が少ないため、多様な意見や価値観に触れる機会が限られる。
- ・職員数が少ないため、個々の教員が抱える校務量が多く、職員一人当たりの負担が大きい。
- ・PTAについて、保護者の数も少ないため、役員等の負担が大きい。

問7 小規模校の課題を改善するためにいま工夫等していることはありますか。

<主な回答内容>

○教育活動の充実

- ・様々な個性や多様な価値観に触れるため、地域社会との連携や協力による学校行事や体験的な学習活動等を行っている。
- ・外部から講師を招く機会や地域との交流を増やしている。
- ・インターネットを駆使して外部に目を向けさせて、視野を広げる。
- ・生徒の自己肯定感や自己有用感を高める活動を増やすため、校内及び地域の方との会議で新しい試み等を検討している。

○学校の活力向上

- ・中学校への出前授業を行い、学校の魅力をPRしている。
- ・生徒の様々な取組を各種発表大会や出前授業、体験入学を通して、地域の方々や中学生に認知してもらえるように積極的に参加するよう心掛けている。
- ・生徒が自分達の取組を動画やSNSで発信するなど、学校の魅力を伝える機会を増やせるようにしている。

○部活動や学校行事の充実

- ・部活動について、兼部制により、他の部活動から部員を借りている。
- ・部活動について、近隣の学校と合同チームを編制し、大会に参加している。
- ・学校行事について、規模は縮小するものの内容の充実を図っている。
- ・学校行事ではすべての生徒に達成感を持たせるため、全員が参加できる内容を企画に盛り込んでいる。

○教員や生徒の心のケア

- ・SC（スクールカウンセラー）、SSW（スクールソーシャルワーカー）等と連携して問題を抱えている生徒の早期発見・早期対応を図っている。

○教員の負担軽減

- ・教員の業務内容や業務分担の見直し。
- ・会議資料のペーパーレス化など、ICT機器を活用した業務の効率化を促進している。

問8 小規模校の課題を改善するために今後必要と思われることは何ですか。

<主な回答内容>

○教育活動の充実

- ・地域住民や他校との連携など、集団で取り組む場面を多くする。
- ・地域産業や地域社会と連携した教育活動の実施。
- ・学校間交流の推進による見識の育成。
- ・レクリエーションや体験活動等、コミュニケーションを育む活動の推進。

○学校の活力向上

- ・地域に根差した学校であるためには、地元の小中学校とも積極的に交流を図り、地元の高校としての魅力を伝えていく。
- ・個々の学校の強みを生かした更なる特色化。
- ・WEBを活用した広報や地域と連携した教育活動等による認知度向上。
- ・魅力ある、充実した教育活動を行い、地元の中学生から選ばれる学校づくり。
- ・教育活動を発信し、地域住民から信頼され、愛される学校となる。

○部活動の充実

- ・団体競技については他校と連携して取り組む。

○教員の負担軽減

- ・教員の資質能力の向上に向けた研修の実施。

問9 その他、小規模校の在り方等について意見等があれば記入してください。

<主な回答内容>

○再編に関すること

- ・学校規模や定員充足率だけではなく、地域に必要とされる学校か否かについて、多様な意見を吸い上げた上で、存続の可否について判断をすべき。
- ・2学級、3学級規模の学校でも、その学校にしかない魅力があれば、生徒の将来に向けた教育活動はできる。生徒、保護者、地域から必要とされる学校の存続を願いたい。
- ・統合のみならず、魅力ある学校を残す工夫も必要である。
- ・長期的な視点で各校の在り方を考えていく必要がある。
- ・地域の少子化のため、入学生は減少の傾向にあるが、小規模ならではの手厚い指導ができ、特別な配慮を必要とする生徒等の対応にも目が行き届く環境にある。それぞれの特徴を生かした小規模校が存続できればと思う。

○小規模校の魅力に関すること

- ・生徒のニーズに応じた個別最適な学びの実現や問題が起きたときに素早くチームとして対応できている。これらは学校の規模に関係なく教員の力量によるところが大きいと思われるが、より小規模校で顕著に表れる。
- ・様々な背景を持つ生徒が入学してくる割合が高くなってきているので、生きる力をつける学校にしていく必要がある。
- ・小規模校に関しては、支援を要する生徒に対する対応が喫緊の課題となっているため、普通学校、特別支援学校という区分、考え方をなくし、UDの取り組みを広めていくことは必須になると考えられる。
- ・多様な学習歴の生徒に対して、教員数を確保し、大規模校では難しい多様な学びが実施できるような学校づくりが大切ではないか。
- ・周りの学校との連携を強めることが学校の維持、生徒数維持の上で不可欠。

(2) 小規模校の3年生及びその保護者

- ・以下の問1から問7の設問について、選択形式でアンケート調査を実施。

問1 【生徒】あなたが今の学校を選択した際に、どのようなことを重視しましたか。(1つ選択)
【保護者】お子様が今の学校を選択する際に、どのようなことを重視しましたか。(2つまで選択)

	生徒		保護者		合計	
① 高校卒業後の進学や就職等の進路	173	26.9%	140	37.6%	313	30.8%
② 自分(子ども)の学力のレベル	248	38.5%	211	56.7%	459	45.2%
③ 日々の通学(通学時間・通学方法・安全性)	134	20.8%	167	44.9%	301	29.6%
④ 部活動や学校生活の充実度	47	7.3%	51	13.7%	98	9.6%
⑤ 高校在学にかかる費用(授業料, 通学費など)	10	1.6%	30	8.1%	40	3.9%
⑥ 子どもの特性への対応や相談体制の充実度	—	—	20	5.4%	20	2.0%
⑦ その他	32	5.0%	16	4.3%	48	4.7%
計(回答者数)	644	100.0%	372	—	1,016	—

※複数選択可としているため、計の欄には回答数ではなく、回答者数を記載している。

- 生徒と保護者の合計では、「②自分(子ども)の学力レベル」、「①高校卒業後の進学や就職等の進路」、「③日々の通学(通学時間・通学方法・安全性)」の順で回答が多く、全体の中でも回答割合が高かった。

<その他の主な回答内容>

○生徒

- ・資格を取得するため。
- ・知り合いや親族がいるため。
- ・1次募集に不合格し、2次募集として受験した。

○保護者

- ・知り合いがいるため。
- ・資格を取得するため。
- ・保護者、親族が通学していた。
- ・子どもが希望する学科があったため。

問2 【生徒】あなたが今の学校を選択した際に、どのようなことを期待しましたか。考えに当てはまるものを選択してください。(3つまで選択)

【保護者】お子様が今の学校を選択する際に、どのようなことを期待しましたか。考えに当てはまるものを選択してください。(3つまで選択)

	生徒		保護者		合計	
① 就職に役立つ知識や技術に関する学び	327	50.8%	214	57.5%	541	53.2%
② 大学受験に必要な学び	103	16.0%	56	15.1%	159	15.6%
③ 基礎学力の向上につながる学び	260	40.4%	167	44.9%	427	42.0%
④ 地域づくりなど地域の活性化につながる学び	77	12.0%	81	21.8%	158	15.6%
⑤ 世界で活躍できる人材育成につながる学び	16	2.5%	5	1.3%	21	2.1%
⑥ パソコンやタブレットなど情報機器を使用した学び	107	16.6%	56	15.1%	163	16.0%
⑦ 実験や実習活動など体験的な学び	110	17.1%	59	15.9%	169	16.6%
⑧ 海外研修を取り入れた学び	2	0.3%	0	0.0%	2	0.2%
⑨ 企業研修を取り入れた学び	29	4.5%	20	5.4%	49	4.8%
⑩ わからない	126	19.6%	40	10.8%	166	16.3%
⑪ その他	26	4.0%	21	5.6%	47	4.6%
計(回答者数)	644	—	372	—	1,016	—

※複数選択可としているため、計の欄には回答数ではなく、回答者数を記載している。

- 生徒と保護者の合計では、「①就職に役立つ知識や技術に関する学び」、「③基礎学力の向上につながる学び」の順で回答が多く、全体の中でも回答割合が高かった。

<その他の主な回答内容>

○生徒

- ・資格取得。
- ・充実した部活動。
- ・充実した学校行事等，学校生活を楽しく送ること。

○保護者

- ・資格取得。
- ・充実した部活動。
- ・自分に合った高校生活を送れること。
- ・不登校であったため，落ち着いた環境で過ごすこと。
- ・休まず学校に行き，無事に卒業すること。

問3 【生徒】あなたの通学時間に当てはまるものを選択してください。(1つ選択)

	生徒	
① 片道15分以内	165	25.6%
② 片道15分～30分以内	255	39.6%
③ 片道30分～1時間以内	158	24.5%
④ 片道1時間～1時間30分以内	57	8.9%
⑤ 片道2時間以内	5	0.8%
⑥ 片道2時間超	4	0.6%
計(回答者数)	644	100.0%

- 「②片道15分～30分以内」、「①片道15分以内」、「③片道30分～1時間以内」の順で回答が多く、全体の中でも回答割合が高かった。

問4 あなたの通学手段に当てはまるものを選択してください。(1つ選択)

	生徒	
① 徒歩	70	10.9%
② 自転車	109	16.9%
③ 鉄道	73	11.3%
④ バス	122	18.9%
⑤ 送迎	219	34.0%
⑥ その他	51	7.9%
計(回答者数)	644	100.0%

- 「⑤送迎」の回答が特に多く、全体の34%を占めた。次いで、④バス、②自転車、③鉄道、①徒歩と同程度の回答となった。その他は、バイクの回答がほとんどであった。

問5 【生徒】クラス数の少ない学校の良いところはどこのようなところですか。(該当するものを全て選択)
【保護者】お子様通っていて、クラス数の少ない学校の良いところはどこのようなところですか。
(該当するものを全て選択)

	生徒		保護者		合計	
① 生徒間の信頼関係や相互理解が強くなる	319	49.5%	155	41.7%	474	46.7%
② 教員と生徒の信頼関係を構築しやすい	271	42.1%	227	61.0%	498	49.0%
③ 施設や設備、備品等に余裕がある	79	12.3%	54	14.5%	133	13.1%
④ 生徒一人一人が活躍する場が多い	193	30.0%	136	36.6%	329	32.4%
⑤ 生徒の要望等に柔軟に対応してもらえる	104	16.1%	122	32.8%	226	22.2%
⑥ 地域との連携が行いやすい	43	6.7%	53	14.2%	96	9.4%
⑦ 多くの人と関わる必要が無い	118	18.3%	26	7.0%	144	14.2%
⑧ 特になし	121	18.8%	60	16.1%	181	17.8%
⑨ その他	6	0.9%	4	1.1%	10	1.0%
計(回答者数)	644	—	372	—	1,016	—

※複数選択可としているため、計の欄には回答数ではなく、回答者数を記載している。

- 生徒と保護者の合計では、「②教員と生徒の信頼関係が構築しやすい」、「①生徒間の信頼関係や相互理解が強くなる」、「④生徒一人一人が活躍する場が多い」、「⑤生徒の要望等に柔軟に対応してもらえる」の順で回答が多く、全体の中でも回答割合が高かった。

<その他の主な回答内容>

○生徒

- ・クラス替えがないため、人間関係を一から作らなくて良い。

○保護者

- ・教師一人一人に見てもらえる。

問6 【生徒】クラス数の少ない学校の課題はどのようなところですか。(該当するものを全て選択)
 【保護者】お子様を通して、クラス数の少ない学校の課題はどのようなところですか。
 (該当するものを全て選択)

	生徒		保護者		合計	
① 人間関係が固定化しやすい	346	53.7%	167	44.9%	513	50.5%
② 競争・切磋琢磨する機会が少ない	102	15.8%	95	25.5%	197	19.4%
③ 学校行事や生徒会活動の活力に欠ける	204	31.7%	83	22.3%	287	28.2%
④ 部活動の選択肢が少ない	251	39.0%	181	48.7%	432	42.5%
⑤ 教科・科目の選択幅が少ない	52	8.1%	28	7.5%	80	7.9%
⑥ 協働的な学びの場が少ない	48	7.5%	24	6.5%	72	7.1%
⑦ 学校行事等で生徒の役割が固定化する	151	23.4%	70	18.8%	221	21.8%
⑧ 多様な考えに触れる機会が少ない	94	14.6%	75	20.2%	169	16.6%
⑨ 社会性を育みづらい	91	14.1%	39	10.5%	130	12.8%
⑩ 特になし	119	18.5%	61	16.4%	180	17.7%
⑪ その他	12	1.9%	5	1.3%	17	1.7%
計(回答者数)	644	—	372	—	1,016	—

※複数選択可としているため、計の欄には回答数ではなく、回答者数を記載している。

○ 生徒と保護者の合計では、「①人間関係が固定化しやすい」、「④部活動の選択肢が少ない」、「③学校行事や生徒会活動の活力に欠ける」の順で回答が多く、全体の中でも回答割合が高かった。

<その他の主な回答内容>

○生徒

- ・人間関係が悪化しやすい。
- ・日々の楽しさの固定化。
- ・交通の便が悪い。
- ・人数が少ないため、良い意味でも悪い意味でも目立ちやすい。

○保護者

- ・PTA 役員等、親の負担が掛かる割合が多い。

問7 【生徒・保護者】問6で選択された課題を改善するにはどうしたらよいと思いますか。(自由記載)

○生徒

- ・学校行事等において、他クラス、他学年、他校との交流を増やす。
- ・生徒の役割を固定化しない。
- ・学校の魅力について、学校全体でPRしていく。
- ・オンライン授業の実施。
- ・部活動について他校と合同で行う。また、兼部制により実施する。
- ・全国募集を実施する。
- ・学校の統合。

○保護者

- ・学校行事等において、他校との交流を増やす。
- ・縦割り行事を作るなど他学年との交流を増やす。
- ・地域の行事に積極的に参加する。また、地域と連携した学校行事の実施。
- ・学校周辺の奉仕活動をする。
- ・社会活動の交流など、色々な人達と関わる行事を増やす。
- ・地域活動への参加を通じた地域伝統の引き継ぎ。
- ・部活動について他校と合同で行う。また、兼部制により実施する。
- ・オンライン授業の実施。
- ・中学校への出前授業や高校の見学を増やす。
- ・人数が少ないからこそ体験できる活動を増やす。
- ・企業、地域、他校、卒業生等、外との関わりを増やし、話を聞く、体験する、考える、自分の未来に繋げていけるような、刺激を受ける場を数多く設けて欲しい。
- ・学校の統合。